

令和5年度第1回「OPEN!みんなで話そう!やまさき市長とともに」概要

日時	令和5年8月5日(土) 10:00~11:45
場所	中央公民館 203・204 学習室
テーマ	「市の財政について」
出席者	市民 16名
	山崎市長、企画経営部職員3名、市民交流部職員5名

1 開会

- (1) 市長挨拶
- (2) 本日の流れについての説明
- (3) 自己紹介

2 市民と市長との意見交換

- (1) テーマの説明(40分程度)
- (2) 意見交換

ア 【市民】 障碍(がい)者、高齢者、その人によって程度・具合が違っているので思いも違うと思う。だから、市長に一言という紙があるがなかなか書きにくい。表現するのがなかなか難しいということがあるので、1年に1回ぐらいは、こういう対話集会で、直接市長と会って面会なり対応を老人とか障碍(がい)者には、わかりにくいところがあるので、1年にいっぺんぐらいは面談対話をして、わかりやすい財政でうまくこう財政が少ないということはわかっているから、効率よく使えるように考えていていただきたい。その為にはまず対話をして財政をうまくまわしていただけないかということをも1点目として申し上げておきたいと思う。

イ 【市長】 OOさんのお手紙は、よくもらっている。トップクラスにたくさんお返事をさせていただいている。こういう集会を年に4回実施している。テーマを決めた集会だけでなく、まちづくり協議会に顔も出したり、地域の方に呼んでいただいたらお伺いしたりしてお話をさせてもらっている。そういった機会を捉えてどんどん参加していただければ、お話する機会が増えると思う。

ウ 【市民】 今後の参考にして、対話集会、またいろいろ障碍(がい)者や老人の意見を、聞いて有効な財政を使っていたらいいと思う。それから2点目。宝塚の一番の観光地である清荒神清澄寺。こないだ参っていたが本殿の所で途中まではスロープがあって行けるが、本殿1周ができない。階段があって。僕も休憩していて、よく聞いていると、「車いすだったら階段だから行けないよね。家族とか子どもは参ってくるから。階段で上がるのは大変だから、おじいちゃんちょっとここで待っていてね。」という話を聞いた。障碍(がい)者も老人も、お参りするなら1周したいという思いは一緒に

ある。清荒神清澄寺と市は全然関係ないじゃないかと、予算を出す必要がないじゃないかとおっしゃられるかもわからないが、僕は小さい頃から障碍（がい）者で、足が悪いのでおふくろによく手を引かれて、清荒神清澄寺にリハビリしていた。よく手を引いて連れて行ってもらった思い出があるが、僕らが子どもの頃は 1 万円札、5 千円札、千円札が山ほど入っていた。先だってお亡くなりになられた清荒神清澄寺の〇〇さんのお母さんが僕によく話かけてくださって言われていたことだが、費銭が減って、参拝者が減って、バリアフリーにしようと思っても、なかなかできないんだと。昔は 1 万円札 5 千円札が入っていたのでできたが、今は 1 円や 5 円 10 円せいぜい多くても 100 円なんだと。だからできないと。僕も寮で生活していたので、神戸や姫路、その他遠方の友達から「今年は、清荒神清澄寺はバリアフリーになっているか。」と電話かかってくるが、「いやまだやねん。」と。他の住吉大社や清水寺、そういった所は殆どがバリアフリー化になっているが、宝塚の一番の観光地である清荒神清澄寺はバリアフリーになってない。清荒神清澄寺さんに確かめると清荒神清澄寺も財政が苦しいからできないと。市も財政苦しいからなかなか出せないところだと思うが、お互いに歩み寄って、お年寄りも障碍（がい）者も 1 周したいという声があるということを書いて、予算をうまくやりくりしていただきたいと思う。以上。

- エ 【市長】おっしゃるように、行政の持ち物ではなく法人の持ち物なので勝手に決めてバリアフリー化しますとはできない。清荒神清澄寺と一緒に考えていく必要があると思う。清荒神清澄寺もおそらく可能ならバリアフリー化したいと思われているだろうが、先ほど見ていただいたように潤沢にお金があるわけではない。清荒神清澄寺には、そういった要望があるということは担当部署から伝えるようにしている。清荒神清澄寺ではもし入れない所、上がれない所があれば、お話をいただいたら上げてくれるなど、そういうことをしていると伺っている。
- オ 【市民】一応声をかけていただいたら手伝いますよという風に、ホームページでは仰って下さっているが、やはり階段や段差、車いすの重さや人の重さを考えるとどうしても遠慮してしまう。迷惑かけてしまうなど。手伝ってもらいたいと一瞬期待するが、やっぱり皆に迷惑かけてしまうからやめようかなという遠慮。言いにくい、頼みにくいところがある。
- カ 【市長】優しいからそんな風に思われるが、甘えてみてもいいのでは。
- キ 【市民】なかなか言いづらいというのがあるので、やはり今日言って明日というのは無理かもしれないが、何年かかけてお互いに清荒神清澄寺と行政とが歩み寄って、今日のお話集会を機会として考えて行っていただいたらなど。それとやはり障碍（がい）者、当事者の人は言いにくいよということを書いていただいて、やっていただいたらと思うのでよろしくをお願いします。
- ク 【市長】今年度、宝塚市ベガホールにエレベーターを設置する計画があり、設計をしている。障碍（がい）者の方や高齢者の方がベガホールの舞台に立つときに階段が大変。

もともとエレベーターを付けられるような設計になっていないため、外付けになると思うがバリアフリー化を進めているところ。今日お話いただいたことも清荒神清澄寺と共有して、遠慮されている方がいるよということもお伝えして、皆さんが清荒神清澄寺を楽しめるように一緒に考えていこうと思う。

- ケ 【市民】土地開発公社の問題について。全国的にバブルがはじけて見通しが狂い、やろうと思っていた事業ができなくなって使い道がなくなった土地、いわゆる塩漬け土地が大問題になっている。宝塚市でもそういう塩漬け土地はないのか。第5次財政健全化計画をやっているが、土地開発公社を清算できるかどうか、どうしても塩漬け土地みたいな土地が残ってしまい、それが難儀な問題になっているということがないのかを聞きたい。
- コ 【市長】おっしゃる通り、塩漬けの土地というのはどこにもあり、利用がしにくい状態で確かに残っている。利用がしにくい所なので、さあどうぞというのもしないし、これに使いましょうなんていうのもなかなか言えないものがある。貸せる物は貸して行って賃料収入を取っていくということもやっているが、おっしゃる通り全部いっぺんに買うお金はない。昨年度は少し買った。お金ができた時にちょこちょこ買って。おっしゃる通り清算しないといけない時が来ると思う。ずっとマイナス土地を持たせたままでは清算できないのでやはり清算するには一定市が手を入れていかなければならない。この財政状況のため、決算の時にちょっとお金の余裕が出たタイミングで少しずつ今も、買い戻している。これを続けてなんとか最終的には綺麗にしていかなければならないというのは私も認識している。ちょっとずつやっている。
- サ 【市民】財政は非常に厳しいんでね。市長が言っているように、いっぺんにそんなお金を出す余裕が今はないと思うが、清算できるように頑張っていたらなと期待を込めている。
- シ 【市長】ありがとうございます。頑張ります。
- ス 【市民】財政のシミュレーションについて、人口が減少するということは歳入の市税も下がるはずだが、今の予測だと住民、生産人口が減るのに市税が減っていない。その辺りを加味したシミュレーションでやってほしい。それと、市立病院について、宝塚市の医療というのは近隣に比べてかなり厳しい状況。施設もサービスも厳しい状況だと思っている。今、兵庫医科大学から先生を送られているとのことで、建物の老朽化だけではなく医療サービスをいかに立ち上げるかというところ。医療従事者にとっても最高の医療が提供できるのと市民の方に医療サービスも宝塚市は進んでるんや、変わったねということを実感してほしいので、その辺りは建物の老朽化だけに目を向けるのではなく、内部の受け入れ改革や医療従事者に対して、いかに高度な医療サービスを患者に提供できるかというところを考えていただきたい。あともうひとつ、すみれが丘の投票場所について。もともとすみれが丘小学校だったが、一番上のマンションから行くと標高差がだいたい200メートルくらいある。年配の方や体が痛まれる方も

それまでは歩いて下まで行かないと投票できなかった。それを地区の真ん中あたりにある管理センターで投票所を設けて良くなったが、3年ぐらい前に、バリアフリーの施設でないため市の選挙管理委員会事務局としては投票所として認めないとなり、廃止された。その後、自治会や管理組合からお金を出して車いすのまま上がれる階段に属したエレベーターを設置し、市の選挙管理委員会事務局から投票所として再認定された。住民が何を欲しているか、財政は厳しい問題だが、やはり人口は減る。今のサービス維持することが厳しいのであって人口が減ったら減ったなりに一人当たりのサービスを落とさずに、例えば市民のサービスは落とせないが財政はある程度縮小させて総額では減るけど住民サービスは下がりにませんというようなことを今後、明確にしていっていただきたい。

- セ 【市長】市立病院については、本日はお金（財政）の話なので、建て替えの話をしたが、実は兵庫医科大学との医療連携の中にダビンチがある。兵庫医科大学のダビンチを貸してもらえるとという約束をした。市立病院では難しい患者さんは、兵庫医科大学でやっていただけるとか。
- ソ 【市民】がんの治療についても。
- タ 【市長】そう。
- チ 【市民】先進の物を入れているので
- ツ 【市長】アジア初の機械を入れて、働きながら抗がん治療をしていける。
- テ 【市民】そういうの、もっと発信した方がいい。
- ト 【市長】私もそう思っている。市立病院にはそのようなご意見をいただいたということ伝えて、もっと病院の予算を発信できるように頑張ってみる。投票所の件について、途中お話を聞いてドキドキしたが、再認定されてよかったと思う。おっしゃる通り市民サービスは維持しながらというところで、なかなか同じ様に維持するのは難しいので、宝塚市はこの2年間で多くの企業、多くの大学と連携をして企業のノウハウ、大学の知識を使って、市民サービスを何とか維持しようとするものすごく頑張っているところ。これから色んな成果が出てくるかと思っているので待っていてほしい。
- ナ 【市民】市債について。阪神淡路大震災が発生し、近隣市も含めて宝塚市も市債を多く発行した。西宮市、伊丹市、芦屋市はピーク時より市債を50%以上減らしている。宝塚市は、26%の減少。なぜ減りが少ないかということ、宝塚市職員の給料がずっと高いままだったからである。総務省の地方公務員の収入データを見ると2015年は全国で18番目だった。平成27年に国が下げたことによって宝塚市も下がったが、まだ平均より高いはずである。市税の総収入から人件費率を計算すると類似団体の平均より2%高い。一般市民から徴収した税金で給料を払っているわけだから、国家公務員の給料や、周辺の給料など、公務員のいわゆる並びの給料ばかり見ないで、思い切った財政改革して、年間10億円くらい削減していけば将来ある程度見通しが簡単に出てくる。
- ニ 【市民】それと市長、もういっぺん検討してほしい。私本当は最後にそれをひねり出す

案を、5億や6億だったらそんなに職員に無理をかけなくても出てくる案がある。

- 又 【市長】それは何か。
- ネ 【市民】市の周辺をくると回っても、あ、これは2千万円減るな、これは3千万円、と皆さん無理しなくてもできるようなことがある。気づいてないだけ。それを提案したい。
- ノ 【市長】それが先に欲しかった。ありがとうございます。その案を先に聞かせていただきかったなと思う。職員の給料に関しては、日曜日に私に付き合っ、こうやってここに職員がいるので、私も答えにくい。また別にその案というものを教えていただければ嬉しい。
- ハ 【市民】市営住宅に住んでいる。市立病院よりも古く、相当ガタが来ている。今後災害が起こった時に避難するところや建物がもつのか住民は不安である。管理組合の総会で、建て替え要望についてアンケートをとり、市に提出したらしいが返事がない。住まい政策課からの回答がないため、みんな不安な状態である。その辺りの計画や建て替えについて見通しがわかれば教えていただきたい。
- ヒ 【市長】だいぶ不安な感じであることをお聞かせいただいたので、住まい政策課に確認して、どんな計画、状況なのか聞く。
- フ 【市民】山崎市長がおっしゃられた通り、財政は非常に危機的な状況にある。私たち現役世代・子育て世代からすると、子どもたちの時代は果たしてどうなるのかと、水道事業と一緒に、今度20%の値上げをする予定だと思うが、昔さぼったことのツケが回ってくる。結局今、市立病院の建て替えやなんだで市債を発行して行って、人口が大きく減った時に、市債の残高は増えていくと。じゃあ子どもたちはそれをどうやっていくのかと、非常に強い危機感を持っている。これだけ大きな問題が起きているのに、市民が22万ちょっといて市長と直接話せる場に17名しか応募がない。しかも、現役世代の方が少ない。財政問題のひとつに、この財政問題を市民が認識していないというのがある。今回このテーマを扱ったことはすごく大事なことだと思うが、まだまだこの財政問題っていうのを若い世代に認知してもらわないといけない。広報だからづかばは多分見していない。市長も含めて市議も、政治家が今の財政状況をわかりやすく発信していかないといけないと思う。そこで、建設的な提案を一つ考えてきた。話題作りということで、市長ご自身の報酬に関して手を入れられたらどうか。そしたら、ニュースになり、市は財政危機だということを伝える一つのきっかけ作りになる。今も減額していることは知っているが、それでも月額965,100円、それから、ボーナス2,309,002円が年に2回。これは財政が危機的な自治体のトップがもらう額ではない。退職金も1800万円くらい出るが、山崎市長がそこに手を入れることで覚悟を示す、市民への周知のきっかけを作ることになると思うが、山崎市長いかがか。
- ヘ 【市長】財政について、市民の方々にご理解がまだまだというのはその通りである。そのため、私達も鋭意一生懸命、今回も財政をお題にさせていただいた。多くの方にこ

れからも知っていただかないといけないところかと思う。その方、その方に必要なところは知っていただけるように、学校のことだったら学校経由で保護者の方に伝わるとか、高齢者のことだったら、高齢者の方々に伝わるようにとか、色々なルートを使って皆さんに知っていただくために色々やっついこうと思う。給料に関しては、これは私がこれだけくれと言ったわけではなくて決まっている額である。

ホ 【市民】 9月議会で条例案を出せばいいので。

マ 【市長】 私がもう10%カットしているのはご存知だと思う。これを無茶な、例えば0にするなんてことをした時に、近隣の人たちが困る。やはりそれは、常識の範囲で考えている。私の給料を言われたが、手取りは半分くらい。

ミ 【市民】 もちろんそれはわかるが、無茶苦茶な0にしろとかいう話ではなくて、例えば賞与だけでもカットするということは他の自治体でも、例えば大阪府のいくつかの自治体でも市長がしていて、それがニュースになっている。あと、学校の話がさっき出たが、宝塚第一小学校の問題についてどうなっているのか。今1000人を超えるような状態が16年くらい続いていて、更に南口にタワーマンションが2棟も建つ。宝塚第一小学校でボランティアの方が話し合いを進められているが、結局解決策が出ていない。校舎をひとつ増やすにはいくらの試算が出ているとかあるが、それもお金がかかる。アピアも今、空室率が20%を超えているが、また破産するかわからない。破産したら、この前宝塚市は、結局、その借金肩代わりした。そうすると今のシミュレーションなんて簡単に吹き飛ばす。吹き飛ばす要素がたくさんあると思う。伝えたいのは、それだけ危機的な状況なのに、なぜ10%の減額の給料をそのままもらい続けているのかと。

ム 【市長】 給料に凄くこだわられているが。

メ 【市民】 こだわっているのではなく、一つの象徴として、そういうところで市民に広報不足な訳だから、その広報する一つの手段として使われてはどうですかと。

モ 【市長】 広報の手段というのは、私はそういうのではなく、実効性のあることをしているかといけな思っている。さっきおっしゃったような宝塚第一小学校の問題に関しては、地域の皆さんがタワーマンションの価格帯がどのくらいになって、ファミリー層がどれだけ入ってくるというデータをもらいながら、地域の方々に今話をしている。

ヤ 【市民】 地域では解決できない。

ユ 【市長】 もちろん地域の方々だけで解決とは思っていない。

ヨ 【市民】 市が主導しないと。

ラ 【市長】 もちろん教育委員会管理部が入ってお話はさせていただいているが、実効性のあることをしていく方が必要と考えている。アピアについても、色々なことに使っていただけるように、宝塚市もワクチン接種は交通の便もあったので、アピアを使わせていただいた。なんとかそういうことにならないように色々な知恵を職員全員で出して随時頑張っているところである。今日は意義あるご意見をいただいたということであり

がとうございます。

- リ 【市民】ということは、給料を減らすつもりはないということか。
- ル 【市民】そこは身を切る覚悟だけの話をするのではなく、総合的に話をした方がいいのではないか。
- レ 【市民】今は、市長の話をしている訳ではなくて、市の財政全体の話で色々質問したいことがある。個人的な、給料が高いとか安いとか、10%下げたら良いとか、そういう話ではない。もっと市の財政の全体のことを私にも言わせてほしい。市長個人が更に減らしたら市の財政がこれだけよくなるというよりは、PR 効果を言っているのだろう。今のこの席というのは、財政の問題を。
- ロ 【市民】財政の問題をせっかくだから、ここにいる方だけでなく、もっと多くの市民の方に知ってもらうための方法のひとつとして
- ワ 【市民】市長の給料というのは、別の席で言ってほしい。
- ヲ 【市民】ひとつのパフォーマンスだけで全体が変わるわけではないと思う。皆さんはほかのことを聞きたいので、そこだけの話に執着するのはどうかと思う。
- ン 【市民】ただ回答を求めただけである。
- ア 【市民】でもその話で終始しているので、みなさんの本当に聞きたい話、宝塚市がどう進んでいくかという話が、その中でぼやけてしまうので。
- イ 【市民】市長に直接話をしてほしい。
- ウ 【企画経営部】時間もないので、一言だけという方がいけば。
- エ 【市民】インフラ整備のお金について、3つほど上げられた。市民の皆さんが思うことで、宝塚市の道路は残念ながらガタガタである。これは全国的な問題だと思う。インフラ整備のお金がない。怖いのは全国的に、道路よりも橋が落ちたりするようになると思う。インフラの補修費を2倍化するという数字を先ほど出された。その2倍化するための物差しというか、考え方としてはなにかあるのか。インフラ整備は非常に難しいと思う。
- オ 【企画経営部】2倍化というのは、これは結果として既にやっている。この数字はどこから出てきたかということだと思うが、床面積をベースに、各施設の建設がこのくらいかかったので、今後更新にはこのくらいかかるよねという数値を全部出して行って、来年の更新費はこのくらいかかるといううえでその経費を充てていくといったことをしている。
- カ 【市長】おっしゃる通りインフラはとても大事だと思っている。私はできたら地域全体をローラー作戦にかけて、道路全体を綺麗にしていきたいという考えを持っていて、どうしたらそれをしていけるか、少ない金額でできるか、検討している。
- キ 【市民】私自身ミドルケアラーで、30歳から10年程介護をしているのだが、その中で、高齢者の医療費が非常に安いと思う。70歳から74歳は2割。75歳以上は1割。金融資産の平均が2000万円近くあるというところで、国や県ベースだと思うが、

宝塚市から少しでもそういう費用を削減していけばインフラとかにまわせると思う。あと少子化対策について。少子化って、その子育て世代だけを主にターゲットにしている。私は就職氷河期世代で、私より少し年上の団塊ジュニア世代の方々、そういう人たちがこれから 10 年 15 年すると 64 歳を超える。年収もあまり多いとは言えない。国とか県とか市もそうだが、子育て世代に偏りすぎているのではないかと思っている。

ク 【市長】ヤングケアラーに関して本当に尽力いただいているということでありがとうございます。ご経験から出たお言葉で、高齢者の医療費がということで、色々な高齢者がいらっしゃるの、担当課と話をしながら考えていこうかなと思う。

ケ 【市民】私は介護を 10 年していて、介護者に対して特に何も利点がなかった。例えば今のヤングケアラーだと結構、財政主張している。でもミドルケアラーや就職氷河期世代は、本当に何にもないに等しかった。

コ 【市長】おっしゃる通りだと思う。ヤングケアラーは、子どもだけの問題ではない。ミドルケアラーも同じ。おうち全体の問題を解決しないと、その人一人だけを家から外してしまったとしてもそこに問題が残ったままなので、本当に多くの部署と一緒に手を組んでみんなまで解決していかないといけない問題とされていて、非常に難しい。特にヤングケアラーは外に出ないので。

サ 【市民】宝塚市はヤングケアラーの調査をしているか。

シ 【市長】ヤングケアラーという調査をすると、絶対子どもは「はい」とは書かない。そのため、年に 1 回子どもたちに心と体のアンケートを取っているのだが、その中にヤングケアラーだったらきっとチェックが入るなという項目を足した。それにチェックが入っている子に関しては、民生委員などみんなで様子を見てヤングケアラーじゃないかなということは確認するようにさせてもらっている。

ス 【市民】市営住宅の管理センターについて。市の業務を民間に委託するということだが、市の管理センターがあまり機能していないということを伝えたい。私は、市営住宅に引っ越して 8 年になるが、今年の 6 月に水漏れが 2 か所あった。上水道の水漏れがあったが、それが 8 年くらい続いていたようだ。今年の 6 月の清掃の時に気づいて、以前から水漏れがあったということを管理センターから委託されている市営住宅の管理人は気づいていながら管理センターなり、水道局に報告しないという状態が続いていた。管理センターに伝えても、「管理人がいるので」と言われる。また、市営住宅の管理人とは別に駐車場管理人という人がいるが、空いているスペースが無断で使われていても見て見ぬふりである。管理センターに伝えても「あ、そうですか。」と言われる。住まい政策課の方に伝えたら「管理センターに任せている」と。管理人に連絡してもなかったことになる。無断で使われている駐車場が 10 か所以上ある。10 年近くになると思うので、市税にしたら相当な額になると思う。水道の方も漏れていても管理センターは確認もしない、そういう状態が続いている。水道代も 20%上がるのに、こういうことを放置していたという問題があり、管理センターに話を電話でもスムーズに伝



わらない。それと、住まい政策課に伝えても、一方通行で結果がわからないという状態が続いている。これをなんとかしてほしいというのが僕の願いである。

セ 【市長】私もその状況に関しては担当に確認を取りたいと思う。

ソ 【企画経営部】それでは、15分ほど延びているので、貴重なご意見をたくさんいただいでいて、お話されたい方も他にもおられるかもしれないが、このあたりで。

タ 【市民】一言、言いたい。中国縦貫道の宝塚のあれは完成したのか。もう、20年30年40年も経っているが完成したかわかるか。

チ 【市長】ごめんなさい。中国縦貫道の？

ツ 【市民】バスの停留所があるところ。わかりませんか。

テ 【市長】最近ずっと手を入れていたあそこかな。もう少しだと思う。草みたいなのところに色々なものが置かれていたりしたので、もう少しだと思う。

ト 【市民】あと1、2年か。

ナ 【市長】スケジュールはごめんなさい。今持っていない。

### 3 閉会

(1) 市長挨拶

(2) 事務連絡（アンケートの協力依頼）